R5 年度　8 月　ばら組ドキュメンテーション『見立て、つもり遊びを楽しむ』

金魚のおもちゃを使って水遊びをしていた。
Ａ君がボトルに水と金魚を入れる姿を見て、
保育士が水を着色し、フタをして「金魚のおうちが出来たよ」とＡ君に見せた。

↓

Ａ君は金魚が入ったボトルをずっと持ち歩いていた。
そして、中の水が減ると自分で水を足したり、中の金魚に話しかけたり、
まるで金魚の世話をするように見立て遊びを楽しんでいた。

☆考察☆

１歳児は、ひとり遊び→見立て、つもり遊びへと遊びの幅が大きく広がる時期である。身近な玩具でも、見立てて遊ぶ、〇〇するつもりで遊ぶことで観察力、想像力、社会性などを養うことができるとされている。今回の場合、保育士の関わりによってＡくんは「金魚のお世話をするつもり遊び」につながったことがわかる。日々、適切な環境作りや関わりをすることで、より子どもの遊びの幅を広げてゆけたらと思う。